



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済：ハーメネイー最高指導者による「抵抗経済」に関する演説  
(25日付シャルグ紙)

ハーメネイー最高指導者は木曜日（8月23日）、アフマディーネジャード大統領や閣僚らが出席する政府週間に関わる会議の場において、以下のように演説した。同最高指導者は、演説において、直接的な政府批判は行っていないものの、政府に対してより一層の制裁対応を求めている。

1. ハーメネイー最高指導者は、「抵抗経済」がイランの成長を維持させる唯一の方法であると演説した。その中で、官民における全ての能力の活用、汚職との戦い、国民の生活に関する問題解決のための最大限の努力、国内生産の支援、過剰消費の回避はいずれも、「抵抗経済」に求められる要素であるとした上で、大統領と閣僚たちは来年（2013年）までの残りの任期に全力を尽くすよう求めた。
2. 対イラン制裁問題に関して、ハーメネイー最高指導者は、「傲慢な世界中の敵の力がイランを後退させようとしている中で、政府は我が国にある全ての能力を用い、進化を続けることで、敵の誤った幻想を打破しなければならない。社会が様々な困難に直面する中で、イランは前に進んでいる。敵は全ての策略が失敗に終わった後、新たな手を打ってくるであろう。政府がそれを予期できれば、敵に立ち向かう措置をよりうまく採用することができる」とした。
3. 昨今の経済問題に関し、ハーメネイー最高指導者は、「国内で生じている諸問題は、下層・中間層の生計に影響を与えており、解決のために真剣に取り組む必要がある。原因の一つはインフレーションであり、高騰した価格を抑え、過度な購買力を低下させる必要がある。また、マネー・サプライ（通貨供給量）も一つの要因であり、知的協力と知識や経験への信頼を基にマネー・サプライを制御し、余剰資金を生産セクターに仕向ける方法を見つけるべきだ。過剰消費の回避は文化機関と政府機関の双方に責任がある」とした。